



— 本日のプログラム —

- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆50周年リハーサル

第2469回例会（4月8日）報告

司会 新橋康紀 S A A 委員

- ◆開会点鐘 中室勝郎会長
- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆ゲストの紹介 中室勝郎会長
  - ・金沢大学連携研究員 野村進也氏（卓話者）
- ◆ビジター紹介
  - ・2610地区第4分区分ガバナー補佐  
能都ロータリークラブ 新平悠紀夫氏  
次期ガバナー補佐の新平です。能都ロータリークラブ  
37年目になります。第24代会長以来の大役ですが皆さん  
宜しくお願いします。



- ◆誕生日祝い（4月） 八井貴啓親睦活動委員長
- ・27日 保下信一会員 ・28日 西 豊会員



- ◆会長の時間 中室勝郎会長

江戸に学ぶ5「江戸の教育」

- 寺子屋－名前は中世の名残り。寺が教育機関。  
7・8歳で登山（入学）4～5年で下山（卒業）。  
明治5年の学校令で全国24000子屋が小学校へ。  
江戸時代は世界に例の無い教育大国で維新後の活力。
- 寺子屋の教育方針  
目的－徳の育成で人づくりが中心であった。  
自由教育で奉行所も教育担当の役人を置かなかった。  
教科書も自由で現存で約7,000種類。
- 現代教育との違い  
礼節を教え、人づくりが中心で教師は聖職者と認識。  
現代は知識と技能の修得が中心で教師は労働者。  
（労働者は体罰を行ってはいけない）
- 教育は三位一体で行われた。家庭・学校・地域。  
子供は天からの授かりもの。

子供への虐待は、天に対する背信として畏れた。  
子供は神と人との間－世界で最も幸な日本の子供。  
子供をつくると言う発言は不遜。

○その他の江戸の教育機関

幕府は各地で郷校・藩校280校以上・私塾3万塾。

- ◆幹事報告 西 豊幹事  
・永田次年度ガバナー事務所から、「春のライトアップ  
と門前市」の招待券がきております。御希望の方は申し  
出て下さい。
- ◆出席報告 今井善弘出席・ニコニコBOX副委員長

4月8日の暫定出席率：74.29%  
（出席26名、欠席9名）  
3月25日の確定出席率：86.11%  
（出席24名、欠席12名、メーク加算7名）

- ◆ニコニコBOX報告 今井善弘副委員長  
・ゲストに野村進也氏、ビジターに能都クラブの新平悠  
紀夫さんをお迎えして。 中室勝郎会長  
・新平悠紀夫さん、野村進也さんようこそおいでくださ  
いました。誕生日祝いありがとうございます。西豊幹事  
・久しぶりにメークさせていただきます。よろしくお願  
い致します。 能都RC 新平悠紀夫氏  
・次期ガバナー補佐、新平悠紀夫さんようこそ。次年度  
はよろしくお願います。 大西哲雄会員  
・次期ガバナー補佐、新平悠紀夫さんをお迎えして。  
新橋康紀会員、山瀬秋雄会員  
・春祭も無事終わる事が出来ました。 能門重矩会員  
・66歳になりました。お祝いありがとうございます。  
保下信一会員  
松岡恵水会員

◆卓話者紹介

◆卓話 金沢大学連携研究員 野村進也氏

テーマ『里山生物を通じた地域の生物多様性について』  
里山生物の現状は、昔どこにでもいたゲンゴロウが、  
絶滅危惧種に指定されている等、生物自体減少している。  
その要因として、ため池、水田、竹山等の放置による里  
山荒廃が考えられる。ただの虫、ただの生き物が農業を  
支えており（生物多様性）、現在農家と生き物の共存を  
築く取組が行われている。これにより、農業と生き物が  
共に繁栄するようにならなくてはならない。



- ◆閉会点鐘 中室勝郎会長

[編集：坂口克己会員]